

2014年度 今和次郎賞および日本生活学会研究論文賞 受賞者選定に関するお知らせ

日本生活学会は、下記の規定に則り、2014年度今和次郎賞および日本生活学会研究論文賞受賞者選定を行うことになりました。

つきましては、会員の皆様からの推薦をいただきたいと考えますので、推薦状書式はホームページからダウンロード頂きご記入の上、2015年1月31日までに下記送付先に学会事務局宛へお送り下さい（両賞とも推薦は会員のみ可能とさせていただきます）。

日本生活学会研究論文賞選定については、対象の『生活学論叢』掲載論文一覧をご参考ください。なお、学会に寄贈していない著書、学会以外に発表された論文等を推薦する場合、または研究会などにおける口頭発表を推薦する場合は、選考のできる形にした資料を現物またはコピーを添付してご推薦下さい。

送付先：〒350-0288

埼玉県坂戸市千代田3-9-21 女子栄養大学 生活文化研究室 日本生活学会事務局宛

お問い合わせ

日本生活学会事務局

〒169-8555 東京都新宿区大久保3-4-1 早稲田大学西早稲田キャンパス55号館 S棟402A
TEL/FAX : 03-3208-3494 E-mail : lifology.official@gmail.com

今和次郎賞規定

日本生活学会は、生活学の提唱者である初代会長今和次郎氏を記念し、生活研究の振興を目的として今和次郎賞を制定する。

1. 授賞は、近年に公表された個人または集団の優秀な業績（著書または論文など）を対象とする。
1月1日より12月31日の間に公表されたものを中心に、概ね、過去3年以内に完成されたものとする。
なお、該当者のないときは授与しない。
2. 受賞者の資格は、原則として日本生活学会会員とする。
3. 受賞者には、賞状・賞牌を授与する。
4. 受賞者の選考は、選考委員会が行い、理事会で決定する。
5. 選考委員会は、理事会が指名したものによって構成される。
選考委員のうち1名以上は過去の受賞者を含むものとする。
6. 授賞式および選考報告は、毎年、日本生活学会の総会において行う。

日本生活学会研究論文賞規定

日本生活学会は、生活学の振興と研究の奨励を目的として、日本生活学会研究論文賞を制定する。

1. 授賞の対象は、1月1日より12月31日までの、『生活学論叢』など当学会の編集、刊行する印刷物に発表された論文、および研究発表大会、月例研究会その他、当学会の主催する研究会等で発表された報告、前記諸報告のデータを用いてまとめられた論文、著書等とする。
なお、該当者のないときは授与しない。
2. 受賞者の資格は日本生活学会会員とする。
3. 受賞者には、賞状を授与する。
4. 受賞者の選考は選考委員会が行い、理事会で決定する。
5. 選考委員会は理事会が指名したものをもって構成する。
6. 授賞式および選考報告は、毎年、日本生活学会の総会において行う。

2014年度日本生活学会
研究論文賞選定対象『生活学論叢』掲載論文一覧
(今 和次郎賞ならびに研究論文賞(奨励賞)受賞者は除く)

『生活学論叢』Vol. 24

論文

1. コンパドラスゴの規範の構築 山内熱人 京都大学大学院
—メキシコ、オアハカ州、先住民村落のフェイスタの事例より—

研究ノート

1. 新島民による新たな生業に関する研究 山崎真之 早稲田大学大学院
—小笠原村父島の移住者の事例を中心に—

『生活学論叢』Vol. 25

論文

1. 現代生活の中での害獣駆除 佐々井飛矢文 京都府立大学大学院
—害獣駆除活動の楽しみの要素に注目して—
2. ヒップホップ文化を担う若者たちによる共同体の創造 山越英嗣 早稲田大学大学院
—地方都市の繁華街で商店を営む若者たちを事例として—
3. 家事教科書における台所の位置づけと台所関連記述の主題
—明治・大正・昭和初期の検定済高等女学校用家事教科書にみる日本の台所の近代化に関する研究—
須崎文代 神奈川大学
内田青藏 神奈川大学
安野 彰 文化学園大学
4. 中国村落の婚姻儀礼におけるモチ米食文化とその機能 甘 靖超 名古屋大学大学院
—江蘇省蘇州市古里鎮S家の事例—

研究ノート

1. 明治期東京における火葬場の立地・制度・絵図 飯塚義博 法政大学大学院
2. 現代における憑きもの筋の変容に関する地域研究 酒井貴広 早稲田大学大学院
—高知県の犬神を事例として—
3. 杭州市における子供の中国茶芸教育 宍戸佳織 早稲田大学
—采荷第二小学校を事例として—